

## トキの飼育繁殖の状況等

## 1 前回の検討会（平成27年10月19日）以降の経過

## 平成27年

- 11月5日 長岡市トキ分散飼育センターのトキ5羽（Yペアの雄No.164を含む）をセンターに移送
- 11月12日 出雲市トキ分散飼育センターのトキ3羽をセンターに移送
- 12月10日 定期健康診断
- 12月21日 野生復帰ステーションの1羽（No422）を繁殖に供するため、長岡市分散飼育センターへ移送
- 12月26日 センターで飼育していた1羽（No526）が12月24日に右上腕骨を完全骨折したことから、ステーションで治療して収容ケージに収容したが、12月26日に死亡を確認。

## 平成28年

- 1月12日 野生復帰ステーションにおける飼育ケージについて、平成27年12月に事故防止対策工事を完了し、同ケージにトキ5羽を移動し飼育を再開
- 1月12日 佐渡市トキふれあいプラザのトキ2羽をセンターに移送
- 1月22日 平成27年10月17日に野生復帰ステーションに保護収容していた放鳥トキ（No194）1羽が死亡

## 2 飼育・繁殖状況（平成28年2月1日現在）

トキ飼育個体数一覧

飼育・繁殖場所	成鳥（羽）	H27生（羽）	合計（羽）
佐渡トキ保護センター	95	9	104
野生復帰ステーション	27	5	32
うち順化ケージ			
繁殖・飼育ケージ	27	5	32
多摩動物公園	9	9	18
いしかわ動物園	10	4	14
出雲市トキ分散飼育センター	6	0	6
長岡市トキ分散飼育センター	6	3	9
佐渡市トキふれあい施設	2	2	4
計	155	32	187

### 3 平成28年繁殖計画

#### (1) 繁殖ペアの考え方

- ・繁殖成績の不振、ペアの相性または雌雄どちらかの個体に問題があると考えられるペアは解消し、共祖係数および平均共祖係数を参考にしつつ、新規ペアを形成する。
- ・分散飼育地における飼育個体の遺伝的多様性を確保するために、ホアヤン、イーシュイの子や孫を含むペアまたは個体を提供する。
- ・自然繁殖が見込めないペアは、飼育環境の改善やペアの組み換え等を検討する。

#### (2) ファウンダーペアの繁殖方針

- ・繁殖ペアの候補となる個体育成を第一の目的とする。
- ・人工孵化を基本とするが、次世代ペアの自然孵化成功率を上げるため、状況により自然孵化を試みる。

#### (3) 放鳥候補系統ペアの繁殖方針

放鳥候補個体の育成を目的として、下記の放鳥トキの分析から、自然繁殖（自然孵化及び自然育雛）によることを徹底する。

- ① 自然育雛の個体は人工育雛の個体よりも野生化での生存率が高い。
- ② 雌雄ともにペア形成には孵化形態が強く影響し、人工孵化個体は自然孵化個体よりも、ペア形成率が低い。

#### (4) ペアの解消と新規形成

(ア) 6ペア（ファウンダー3ペアを含む）を解消する（表1）。

(イ) 新規に6ペア（ファウンダー2ペアを含む）を形成する（表2）。

(表1) 解消ペア

ペア	飼育場所	♂	♀	2014年産卵成績			2015年産卵成績			備考(2015年)
				産卵数	有精卵	不明	産卵数	有精卵	不明	
B	CE	19A	18β	9	6	2	7	2	3	♀死亡
F	CE	20A	48B	11	3	8	6	3	3	♀脚弱
U	ST	106B	129A	4	4	0	4	3	0	♂の激しい攻撃
Y	長岡	164Q	163B	8	4	3	7	3	4	♂の激しい攻撃
AH	CE	153β	87A	8	1	1	11	0	7	繁殖成績不振
AZ	CE	17β	193R	-	-	-	5	0	0	♂の激しい攻撃、孵化0

CE：トキ保護センター ST：野生復帰ステーション 長岡：長岡市分散飼育センター

青字：ホアヤンの子 赤字：イーシュイの子

(表2) 新規ペア

ペア	飼育場所	♂(旧ペア名)	♀(旧ペア名)	共祖係数	備考
AA	CE	17β(AZ)	<b>226R</b>	0.03125	♂: ヨウヨウ、2011年~2014年ペア形成
BG	CE	19A(B)	<b>193R(AZ)</b>	0.0625	♂: ユウユウ
BH	CE	20A(F)	115B(T)	0.125	♂: シンシン
BI	CE	153β(AH)	390AA(新)	0	♂: ホアヤン
BJ	ST	394B(新)	129A(U)	0.125	
BK	長岡	<b>422AH</b> (新)	163B(Y)	0.0625	

青字: ホアヤンの子 赤字: イーシュイの子

## (5) 増加見込み羽数

## ・ファウンダーペア

**AA**、BA、BI …………… 3 (ペア) × 1 (羽) = 3

## ・センター

E、**AM**、**AN**、AY、**BG**、BH …………… 6 (ペア) × 1.4 (羽) = 8.4

## ・ステーション

AE、BB、BE、BF、BD、BJ …………… 6 (ペア) × 1.4 (羽) = 8.4

## ・多摩動物公園

K、**Z**、AD、**AT** …………… 4 (ペア) × 1.4 (羽) = 5.6

## ・いしかわ動物園

I、AU、**AW** …………… 3 (ペア) × 1.4 (羽) = 4.2

## ・出雲市

N、AF、**AK** …………… 3 (ペア) × 1.4 (羽) = 4.2

## ・長岡市

AL、BC、**BK** …………… 3 (ペア) × 1.4 (羽) = 4.2

## ・佐渡市

AO …………… 1 (ペア) × 2 (羽) = 2

合計 29ペア 40.0羽

青字: ホアヤンの子を含むペア

赤字: イーシュイの子を含むペア

紫字: ホアヤンの子×イーシュイの子

※ 平成28年の増加見込み羽数は、29ペアから40.0羽(平成27年実績は29ペアから32羽)。うち、37.0羽が放鳥予定個体。

※ 飼育中の放鳥予定個体は2013年以前生まれが17羽、2014年生まれが36羽、2015生まれが28羽。したがって、2017年まで、年40羽程度の放鳥が可能。